



## クラウド・コンピューティング

(9月のごあいさつ)

平成 22 年 9 月 29 日 (水)

今年は本土の異常気温の報道に囲まれて、気分的にも温度的にもそんなに暑くない沖縄の夏を過ごすことができました。そして、早朝の涼しい風を受け、秋という言葉を感じて爽やかな気分になっています。

先月、IT コーディネータ全国カンファレンス 2010 (2 日間) に参加した。

IT 時代に遅れまいと取得した IT コーディネータ資格であるが、資格維持の研修について行くのがやっとである。

参加の目的は、インターネット経由でソフトや情報を提供するクラウド・コンピューティングという言葉の広がりの中で、企業にとって最適なクラウドの構築によるビジネス課題の解決について何等かのヒントを感じることである。

カンファレンスの中で印象的だったのは**グリーン・クラウド・コンピューティングの実現**という愛知県の自動車関連メーカー (売上高 16 百億円、従業員 1,600 人、グループ会社 43 社) の発表であった。

プライベート・クラウドであるグループ企業のハードとソフトの統合やデータセンター電力の太陽光発電化により **CO<sub>2</sub> 削減 245t/年** (森林換算、東京ドーム 13 個分) を実現するとともに、更にパブリック・クラウド (企業グループがハードもソフトも所有しない) への進化を目指し、**業界共通の EDI 基盤の構築**を進めている。

散歩の途中、晴れた日の夜空にくっきりと浮かぶ**白い大きな雲**を眺めながら**クラウド・コンピューティング**という雲をつかむようなイメージを心に浮べて、やはり企業に必要なのは IT による経営課題の解決であると思った。

それは**企業経営が、企業的成果と社会的成果を維持・向上させる命題の下でコストと投資を最小にする人間の工夫**であると思うからである。

60 年以上も前、**世界最初に開発されたというコンピュータ ENIAC** は倉庫 1 棟分のスペースに設置されたというが、進化、高度化してきた。インターネットの爆発的な普及により巨大なソフトウェア基盤・データの格納庫・ハードウェアプラットフォームを擁するクラウド・コンピューティングのシステムも巨大な倉庫 (WSC ウェアハウススケールコンピュータ) ということであるが、今まだ生まれたてとも言うべきこの**巨大なコンピュータの次なる進化を注視して行きたい**。

長年にわたるソフトとハードの発展が、現実の企業経営の必要性和マッチしながら、クラウド・コンピューティングという**所有から使用への変革**を促進し、従来と異なる新しい経営スキルの創造を促して行きそうな感じがする。